

<検討に当たっての基本的考え方>

公共インフラとしての電話リレーサービスの検討に当たっては、

- ① **安定的・継続的な提供** (持続可能な「ヒト・モノ・カネ」を確保できる実施体制)
- ② **適正性かつ効率性** (適正なサービスを、効率よく実現)
- ③ **実現可能性** (技術、スケジュール、費用、国民理解などのバランス)

などに配慮し、**電話** (携帯電話を含む。) の利用環境と同等の利用環境を整備することを旨とし、**可能なものを段階的に導入**すること。

電話リレーサービスのイメージ

